

2018 年度
調査報告書

障害者専用・優先スポーツ施設に関する研究
2018



〔共同研究者〕

日本福祉大学 スポーツ科学部 教授 藤田 紀昭

目次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査方法	1
3. 調査の実施体制	1
II. 調査結果（質問紙調査）	2
1. 施設情報	2
(1) 障害者専用・優先スポーツ施設の定義	2
(2) 障害者専用・優先スポーツ施設の設置状況	3
2. 施設分類	8
3. 障害者専用・優先スポーツ施設の設置年と設置者	9
4. 障害者専用・優先スポーツ施設に付帯する施設	11
5. 障害者専用・優先スポーツ施設の管理運営状況	12
6. 障害者専用・優先スポーツ施設の利用状況	15
(1) 総利用者数	15
(2) 施設利用者の集計方法	16
(3) 利用者の利用状況	17
7. スポーツ指導者の配置状況	19
(1) 有給または有償のスポーツ指導者数	19
(2) 障害者スポーツ指導に関わる有資格者の内訳	20
8. 障害者専用・優先スポーツ施設の実施事業	22
(1) 障害者専用・優先スポーツ施設の実施事業	22
(2) 障害者スポーツ教室	23
(3) 障害者スポーツ大会・イベント	26
(4) 巡回スポーツ教室（出張教室）の実施状況	31
(5) 巡回スポーツ教室（出張教室）の実施場所	36
9. 障害者専用・優先スポーツ施設の修繕・建て替え状況	37
III. 調査結果（ヒアリング調査）	38
1. 大江病院体育館	39
2. 東京都障害者総合スポーツセンター	42
3. 日本財団パラアリーナ	46
4. 岐阜県福祉友愛アリーナ	49
5. サン・アビリティーズ城陽	52
6. 太陽の家サンスポーツセンター	55
IV. まとめと考察	58
V. 参考文献・付録	64

注)「しょうがい」の用語は、「障がい」「障害」「障碍」などがあるが、本報告書では、固有名詞以外は、法律上の「障害」を使用した。

I. 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、我が国の障害者スポーツ専用施設、および優先施設（以下、「障害者専用・優先スポーツ施設」）の設置状況とその概要、利用者数等を明らかにし、障害者スポーツの普及、振興状況を把握するための基礎資料とすることを目的に実施した。

2. 調査方法

1) 文献調査

文献調査（インターネットによる情報収集を含む）により、障害者専用・優先スポーツ施設の要件を満たす施設候補をリストアップした。

2) 質問紙調査

障害者専用・優先スポーツ施設の抽出、施設概要、運営状況等について、それぞれ質問紙調査を行った。

①調査対象

全国の障害者スポーツ専用施設、または障害者が優先的に利用できるスポーツ施設 141 施設

②調査項目

- ・施設の設置および管理状況
- ・施設の付帯設備設置状況
- ・施設の利用者（2015～2017 年度）の状況
- ・施設の指導者
- ・施設の実施事業
- ・施設の修繕／建て替え

③調査期間

2018 年 9 月～11 月

④調査方法

郵送法*

(*注) 対象施設が希望した場合は、調査票データをメールで送付し、回答済み調査票をメール添付で返送していただいた。

⑤回収状況

・回収:108(回収率 76.5%)

3. 調査の実施体制

本調査は、以下の学識者と笹川スポーツ財団の共同研究により実施した。

日本福祉大学	スポーツ科学部	教授	藤田 紀昭
〃		助教	安藤 佳代子
〃		助教	兒玉 友
公益財団法人笹川スポーツ財団		主任研究員	小淵 和也
〃		主席研究員	澁谷 茂樹